

指定管理者による管理運営の実施状況報告

- 1 施設名： 求菩提資料館
- 2 指定管理者名： 豊前市
- 3 指定期間： 平成26年4月1日～平成31年3月31日
- 4 施設設置目的： 求菩提山修験道に関する資料の収集、保存及び展示
- 5 管理運営についての点検結果（平成30年4月1日～平成31年3月31日）
 - (1)点検方法： 事業報告書、現地確認、ヒアリング等をもとに指定管理者による管理運営の実施状況の点検を行った。
 - (2)点検結果： 別添のとおり

①管理運営状況総括表

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
①公共性（公益性）の確保	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡「求菩提山」及び重要文化的景観「求菩提の農村景観」を中心とした修験道関係遺跡に関する資料の収集、保存、展示という館の設置目的に沿った管理運営を行う。 ・ 瀧蔵坊の資料整理を行う 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 史跡「求菩提山」の修験道文化を紹介する施設として展示、保存、調査及び教育普及に努めている。また、資料の保存については、盗難、災害などからこれらを守るため万全のセキュリティ体制をとるべく、警備会社とも協議して適切な方法で行っているほか、一年おきに収蔵庫の防虫・防カビのため燻蒸処理を行っている。 ・ 瀧蔵坊寄託資料（求菩提山最後の山伏関連）を受け入れ、整理を行っている。
②施設利用及びサービス向上	<ul style="list-style-type: none"> ・ 常設展示の他、企画展などを行う。 ・ 市民歴史講座（年5回）を実施する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 年間の事業計画に基づいて調査、教育普及活動などを行っている。その方策として、HPIによる情報発信、案内表示の設置、各種団体からの求めに応じて講演や展示解説などを積極的に行っている。 ・ 春の企画展「創る～藤本健一朗のやきもの～」、早春企画展「おひなまつり」、児童生徒向けのミニ企画展「むしムシ大行進2」を開催した。 ・ 特別企画展示「ふるさと写真コンクール作品展」や「くぼて里山コンサート」を行った。 ・ 民俗芸能をテーマに、市民歴史講座を開催した。 ・ 利用者数21,364人（対前年度比：137.2%） ・ 高齢者や障がいのある方が来館した際には、必要に応じて職員が付き添うなどで観覧を補助できるよう努めている。
③経営（収支）改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 報酬等、人件費の抑制に努める。 ・ 需用費等の支出軽減に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委託料実績 8,146千円（対前年度比同額） ・ 地元ボランティアとの協働を図り、経費の抑制に努めている。
④職員確保方策及び健全な財政基盤	<ul style="list-style-type: none"> ・ 館の運営に支障の生じない必要最低限の職員の確保に努める。 ・ 史跡ボランティアの育成と活用に努める。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 豊前市生涯学習課兼務職員1名（館長）、学芸員2名、事務職員1名を配置。 ・ 企画展等の開催時は多くの入館者に対応するため、地元ボランティアに協力を求めた。 ・ 史跡ボランティアの月例会（毎月第3土曜日）で行われる学習会に学芸員が参加し、ボランティアの育成を図っている。

大項目	事業計画（取り組みや改善の内容等）	管理運営の概要
⑤施設管理上の個別事項	・現状の設備の中で文化財の適切な保存に努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・30年度に導入した除湿機を活用するなどにより文化財の保存に努めている。 ・文書資料の展示については、展示用レプリカの作成や展示ケースの照明を紫外線カット型に随時取り替えるなどの取組に加え、傷みの激しい資料の保存修復を随時行っている。 ・紫外線対策と節電対策を兼ねて展示室の照明を計画的にLEDに取り換えている。 ・消防施設、エレベーターなど、点検が必要なものについては法令を遵守し対応を行っている。 ・災害時には危機管理体制に従い適切な対応ができるよう、確認を行っている。

②点検結果

<input type="checkbox"/> A+（提案内容を上回った） <input type="checkbox"/> A（提案内容をやや上回った） <input checked="" type="checkbox"/> B（概ね提案内容どおり） <input type="checkbox"/> C（提案内容をやや下回った） <input type="checkbox"/> D（提案内容を下回った）	<p>【総合コメント】 地元住民を対象とした歴史講座や、夏休み期間中の児童生徒向けのミニ企画展開催など、住民が地域の文化を学び、郷土愛を育む教育機関として活用されている。 季節ごとの企画展や地元イベントに協賛したミニ企画展の開催など、年間を通して地域行事への参加や人を呼び込むための魅力ある展示を行っており、入館者数は過去5年間で最多であった。 史跡ボランティアのガイドコースに「求菩提の農村景観（重要文化的景観）」を加え、重要文化的景観「求菩提の農村景観」及び国史跡「求菩提山」の広報活用の拠点施設としての役割も担っている。</p>
---	---